

かみのかわ

議会だより



Kaminokawa



1市2町広域連携バス「ゆうがおバス」出発式

No. 175

令和元年11月

◆編集発行◆

上三川町議会広報委員会

〒329-0696
栃木県河内郡
上三川町しらさぎ一丁目1番地
TEL 0285 (56) 9161

◆ 目 次 ◆

9月定例会議決事項	P2~5
常任委員会審査結果報告	P6・7
決算特別委員会審査結果報告・討論	P8・9
常任委員会・広報委員会視察研修報告	P10・11
審議結果一覧	P12・13
一般質問	P14~18
中学生模擬議会が開催されました	P19
改革検討会実績報告	P20・21
上三川町ってどんなところ?・編集後記	P22

★令和元年 第3回町議会定例会★

◆9月定例会◆

令和元年第3回町議会定例会が9月4日から20日までの17日間の会期で開催されました。人事、平成30年度決算認定等に関する議案等について審議を行いました。

※ 議案に対する採決結果については、12・13ページに「審議結果一覧」を掲載しています。



このようなことが決まりました。

同意

見にご~や~!
議会のホームページ

上三川町のホームページから上三川町議会をクリック。新着情報や多彩なメニュー満載です。是非、見に来てくださいね。

◆ 議案第42号
教育委員会教育長の任命につき同意を求めること
なすこと

11月9日をもって任期満了となる、森田良司氏の後任として、氷室 清氏(大字東蓼沼)を任命することに同意しました。

◆ 議案第43号
教育委員会委員の任命につき同意を求めること
なすこと

9月30日をもって任期満了となる、櫻井定一氏の後任として、松枝健一氏(大字坂上)を任命することに同意しました。

条例制定等

委員会提出議案

◆ 議案第45号

上三川町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

旧氏（旧姓）の印鑑登録を可能とするこ
とや、性別標記の削除等をするた
め、改正するものです。

◆ 議案第46号

上三川町税条例等の一部を改正する条例の制定について

地方税法の改正に伴い、個人町民
税の非課税の範囲等について規定
するため、改正するものです。

◆ 議案第49号

10月からの幼児教育・保育の無
償化の実施に伴い、食事提供に要す
る費用の取り扱い等を変更するた
め、改正するものです。

◆ 委員会案第4号

上三川町議会委員会条例の一部
を改正する条例の制定について

◆ 議案第47号

上三川町都市計画税条例の一部
を改正する条例の制定について

都市計画事業等に要する費用が
都市計画税の税収を下回ることが
見込まれるため、余剰金が生じない
よう、令和2年度及び3年度の税率
を改めるため、改正するものです。

◆ 議案第50号

上三川町特定教育・保育施設及
び特定地域型保育事業の利用者負
担に関する条例の一部を改正する
条例の制定について

10月からの幼児教育・保育の無
償化の実施に伴い、利用者負担額の
算定基準等を変更するため、改正す
るものです。

契 約

◆ 議案第44号

工事請負契約の締結について
（体育センター耐震補強・大規模改
修工事）

【契約金額】

4億4817万3千円

【相手方】

増淵・加藤特定建設工事
共同企業体

陳 情

◆ 陳情第6号

日本政府に対して、国連の「沖縄
県民は先住民族」勧告の撤回を求め
る意見書の採択を求める陳情

現時点では判断ができないため
継続審査としました。



報告

◆ 公益財団法人上三川町農業公社の経営状況説明書の提出について

平成30年度の事業報告・決算及び、令和元年度の事業計画・予算が報告されました。

◆ 平成30年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

監査委員の審査意見書を付して、平成30年度の健全化判断比率と資金不足比率が報告されました。



健全化判断比率と資金不足比率の公表

健全化判断比率と公益企業会計の資金不足比率は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により前年度決算に基づく監査委員の審査に付したうえで、議会に報告し公表しなくてはならないとされています。

指 標	内 容	比率推移		備 考	
		平成30年度	平成29年度		
健全化判断比率	実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計の赤字の割合	—	—	赤字なし
	連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合	—	—	赤字なし
	実質公債費比率 (3カ年平均)	標準財政規模に対する1年間で支払った町債(借金)返済額の割合	4.4%	5.0%	
	将来負担比率	標準財政規模に対する、将来町が支払う町債の返済額の割合	—	—	算定なし
資金不足比率	公営企業会計の事業規模に対する資金不足額の割合	水道事業会計	—	—	資金不足なし
		公共下水道事業特別会計	6.4%	—	※
		農業集落排水事業特別会計	—	—	資金不足なし

※公共下水道事業特別会計における資金不足比率について

本年4月1日から地方公営企業法が適用されたことに伴い、3月31日で打切決算を行ったことにより、これまで出納整理期間中に収入していた下水道使用料について未収金が発生したことによるものです。

◆令和元年度 補正予算◆

議 案	会 計 名	補正前の予算額	補 正 額	補正後の予算額	歳 入 (主なもの)	歳 出 (主なもの)
第52号	一般会計 (補正第2号)	112億5976万円	2999万6千円	112億8975万6千円	森林環境贈与税の創設、子ども・子育て支援臨時交付金に係る増額	庁舎設備維持修繕事業に係る工事請負費の増額
第53号	国民健康保険事業特別会計 (補正第1号)	30億2000万円	7982万1千円	30億9982万1千円	前年度繰越金の増額	基金積立金の増額
第54号	介護保険事業特別会計 (補正第1号)	22億4700万円	7251万7千円	23億1951万7千円	前年度繰越金の増額	国庫負担金等償還金の増額
第55号	後期高齢者医療特別会計 (補正第1号)	2億7100万円	206万8千円	2億7306万8千円	前年度繰越金の増額	前年度事務費繰入金精算に伴う一般会計繰出金の増額

◆平成30年度 決算認定◆

平成30年度一般会計・特別会計の歳入歳出決算、水道事業会計剰余金の処分及び決算について、監査委員の決算審査意見書を付して、上程されました。

決算特別委員会において審査を行い、その結果報告を受けて本会議において認定しました。

議案	会計名		歳入		歳出	
			決算額	前年比	決算額	前年比
第56号	一般会計		106億4422万円	△28億1874万円	101億8444万円	△29億531万円
第57号	特別会計	国民健康保険事業	31億5666万円	△3億5670万円	29億9255万円	△2億9525万円
第58号		介護保険事業	21億7847万円	3088万円	20億7914万円	2349万円
第59号		後期高齢者医療	2億6407万円	1296万円	2億5922万円	1031万円
第60号		公共下水道事業	10億8945万円	△1億1575万円	11億6222万円	△8364万円
第61号		農業集落排水事業	3億1703万円	448万円	3億1237万円	794万円

議案	会計名		収入		支出	
			決算額	前年比	決算額	前年比
第62号	水道事業会計	収益的収支	5億9051万円	412万円	5億656万円	△1344万円
		資本的収支	6873万円	△1977万円	2億7238万円	△1028万円

※決算額は、一万円未満を切り捨てして表記しています。



審査結果報告をする
館野代表監査委員

監査委員 館野治信
監査委員 稲見敏夫

財政力指数は概ね良い値を示しており、起債残高も減少してきていますが、適正な財政運営のためにも、歳入を中長期的に予測し、計画的な財源確保策を講じるとともに、歳出においては、単独事業の総合的な検証や見直しを図っていただきたいと思います。

○印紙等購買基金の運用状況
基金の設置目的に従い適正に運用されていると認められた。

○財産に関する調書
計数は正確であり、管理状況も適切に行われていると認められた。

○水道事業会計決算書、付属書類
法令に従い作成され、経営及び財政状況も適正であると認められた。

○一般会計及び特別会計決算書、付属書類
法令に従い作成され、計数は正確で内容も適正であると認められた。

【審査結果】

監査委員より決算の審査結果報告がされました。

決算審査意見書（要旨）

審査結果報告 ◆

総務文教常任委員会

【議案第44号】

問 体育センターの空調設備の導入箇所は？

答 1階キッズスペース、2階多目的室等に導入します。アリーナについては工事費が概算で1億3千万円程度かかる等の理由から、導入しないこととしました。

【議案第46号】

問 改正により個人住民税非課税となる単身児童扶養者の人数は？

答 15人程度を想定しています。

【議案第47号】

問 税率改正後の税収の見込みは？また、令和3年度までの税率を改正する理由は？

答 令和2年度は約1千万円の減、令和3年度は約2千万円の減となる見込みです。
令和3年度までの税率を改正する理由は、一般会計分の公債費が令和3年度以降0(ゼロ)となること、また、公共下水道事業特別会計の公債費も減少が見込まれることから、都市計画事業等に必要となる費用予測にあわせ、段階的な引き下げを行う結論に至ったためです。

【陳情第6号】

委員の主な意見

国連が勧告に至った社会的背景や国際情勢などを踏まえた上で慎重に審議を重ねる必要があると考えるため、現時点では判断ができない。



高橋委員長

委員会審査結果

議案第44号及び第46号は賛成多数により、第47号は全員賛成により、原案どおり可決しました。

陳情第6号は、継続審査と決定しました。

◆ 常任委員会

産業厚生常任委員会

【議案第45号】

問 印鑑登録が可能な旧氏きゅうじの範囲は？

答 登録申請者の戸籍に記載されたことがある氏から選択することができます。

【議案第48号・第49号】

問 保育所に通う、保育料無償化対象児童の副食費(おかず代など)の徴収方法は？

答 改正前は町が保育料に含み徴収をしていましたが、今後は施設が保護者から徴収することになりました。

問 2歳以下の児童は保育料無償化の対象となるのか？

答 原則的に対象とはなりません、住民税非課税世帯については対象となります。

【議案第50号】

問 森林環境譲与税はどのような事業に使用するのか？ また、森林整備事業の開始時期は？

答 今年度から町へ交付されるものであり、森林の整備や管理のほか、啓発活動等に使用します。

事業の開始時期は、対象森林の所有者への意向調査・協議を進め、令和3年度より管理等を行う予定です。

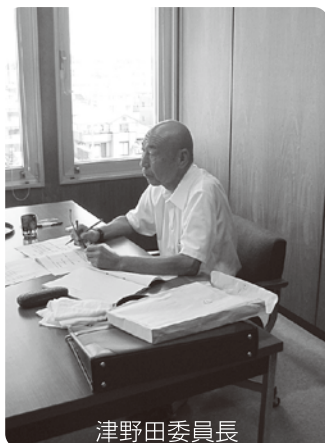
【議案第51号】

問 指定給水装置工事事業者の数と登録更新時期は？

答 事業者数は約200者です。5年間で段階的に更新を進めていきます。

委員会審査結果

議案第45号及び第48号から第51号は全員賛成により、原案どおり可決しました。



津野田委員長



決算特別委員会(9月12日・17日)

平成30年度会計決算について、各常任委員会から選出された6人と副議長を加えた7人で所管課の説明を受けながら審査を行いました。

【委員構成】

委員長	高橋 正昭
副委員長	津野田重一
委員	海老原友子
委員	神藤 昭彦

委員	稲川 洋
委員	生出 慶一
委員	石崎 幸寛

各会計の主な質疑

【一般会計】

(歳入)

問 固定資産税滞納者への不動産差押さえに対する町の考えは？

答 高額滞納で差し押さえを行った方もいますが、納税相談により計画的に納税している方もいます。

滞納者に対しては、差し押さえ等の可能性を伝えた上で納税意識を高めながら、預金、給与などを勘案し差し押さえ等も視野に入れ徴収努力を勧めます。

(歳出)

問 防犯灯をLEDにしたことによる電気料の変化は？

答 年間の電気料は、蛍光灯が約810万円、LEDが約520万円です。LED化により約300万円の減額となりました。



問 橋梁維持調査の内容は？

答 主に田川と江川に架かる橋を調査しました。

高低差があるものは、橋の上から作業車のアームを伸ばして点検し、高低差がないものは、脚立などを利用して目視・打音調査を行っています。



橋梁点検調査の様子

問 健康教室の実施数は？

答 うき浮き水中運動教室・ここにこ水中運動教室・かんたんフィットネス教室・自主運動グループサポート事業・ヘルスアップウォークの5つの事業を実施しています。

実施数としては適切と考えますが、適宜修正を加えて内容の充実を図ります。

【国民健康保険事業特別会計】

問 保険者努力支援制度の内容は？

答 特定検診・がん検診の受診率向上、健康マイレージ、保険税の収納率向上などについて、国・県が示す基準を満たすと加点され交付金が交付されます。

町では特定検診・特定保健指導等に関する項目で高い点数を獲得しており、県内で3番目の高得点となっています。

問 産地パワーアップ事業の内容は？

答 平成30年度はトマトの施設整備に対し補助を行いました。

【後期高齢者医療特別会計】

問 財政状況の推移は？

答 被保険者数が増加しており、年齢が高くなるにつれ、1人あたりの医療費が高額となるため、医療費は更に増加すると思われます。

医療費抑制のため、各課と協力し、健康診断の受診率向上や、介護予防事業に取り組みます。

【公共下水道事業特別会計】

問 普及率は？

答 公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽を併せた生活排水処理普及率は、98.7%（平成30年度末）です。

【水道事業会計】

問 漏水への対応方法と発生状況は？

答 漏水が発生した場合は修繕等に対応しています。発生件数は増加傾向にあります。

【審議結果】

各会計について、次のとおり認定及び可決することに決定しました。

- ・ 一般会計
 - ・ 国民健康保険事業特別会計
 - ・ 介護保険事業特別会計
 - ・ 後期高齢者医療特別会計
 - ・ 公共下水道事業特別会計
 - ・ 農業集落排水事業特別会計
- 【全員賛成により認定】
- ・ 水道事業会計
- 【全員賛成により剰余金の処分を可決及び決算を認定】

討 論(抜粋)

平成30年度当初予算に対する討論

一般会計・特別会計及び水道事業会計に対し、賛成・反対それぞれの立場から討論が行われました。

「反対討論」

○平成30年度一般会計及び特別会計決算に対し、反対します。
決算説明で実質収支が約3億6千万円の黒字であると説明されましたが、黒字であれば市街化区域の居住者に課税される不公平な都市計画税は今直ぐにでも廃止するべきと考えられます。

○反対討論をいたします。
国民健康保険は皆保険体制を下支えする役割を担っています。

町は一般会計から繰入を行い、町民の保険料負担軽減に努める必要があります。後期高齢者医療では、際限のない保険料増額の仕組みをなくすべきであると考えます。

議案56・57・58・59号の決算認定に反対します。

「賛成討論」

○賛成の立場から討論を行います。

一般会計では、健全財政の維持に向け、歳入、歳出の精査等の努力が読み取れます。

水道事業会計においては利益を計上した中で、町債、企業債残高も減少させてあり、厳しい財政の中、確実な運営がなされている決算内容だと思われれます。

委員会視察研修報告

総務文教常任委員会

【研修日】7月29日・30日

○静岡県三島市

防災対策について／
三島市被災者支援統合システムについて

三島市は、警察などの関係機関と実施する「水防訓練」、住民と共同で避難所を実際に設営する「避難所開設訓練」などの実践的な訓練を行っています。

避難所運営では、女性でなくては気づかない点に配慮できるように、主体となる自主防災組織等のリーダーには必ず女性を加えているそうです。

「三島市被災者支援統合システム」は、被災者情報を一元管理できるもので、市が民間事業者と協働で開発しています。

被災者の居住地・被災状況ほか、生活支援の受給状況など30項目にわたる情報が管理でき、役所内の情報共有、事務の効率化がされていました。

また、情報の一元化により、各支援制度申請に必要な「罹災証明書※」の省略が可能になるなど、スムーズな支援提供ができる体制となっていました。

市民と行政が、南海トラフ地震の襲来に真剣に立ち向かい努力している姿に感銘をうけました。

○静岡県沼津市

言語教育による表現力・読解力育成事業について

沼津市は、「読解の時間」と「英語の時間」からなる「言語科」を設置し、独自に作成した教材を使用し授業を小中一貫で行っています。

「読解の時間」では、設定された課題に関するデータを読み解き、グループで解決策を考える授業を行っています。話し合いで結論を出すことに楽しさを感じる子どもが増え、意欲が向上しているとのことでした。

「英語の時間」では、小学校低学年は、身近なものを英語で話してみる授業、中学校では相手に応じたリアクションの表現を身につける授業など、各学年に応じた授業を行っています。

また、夏休み中に実施する小学校高学年を対象にした、イングリッシュキャンプは人気行事となっていました。

授業により、他者への理解と意見の違いを考え、自分にとって最適な「答え」を導きだす力が育まれていると感じました。

委員長 高橋正昭



「罹災証明書」

地震・風水害等による家屋等の被害程度を市町村が証明するもの。各支援制度などの手続きの際に提出を求められる場合があります。



広報委員会

【研修日】7月9日

○広報委員会研修

（令和元年度町村議会広報クリニック）

「自治体広報の理論」「編集方針」「デザインの原理原則」「企画」「編集」の項目から、議会広報紙のあるべき姿について、自治体広報広聴研究所代表 金井茂樹氏より講義を受けました。

また、4町村の議会広報紙を題材に、広報クリニックが行われ、編集の4つのチェックポイント、

- ① 「そろえる」
上下のずれは無いか
- ② 「繰り返す・一貫性」
見出しのフォント・色、
枠の太さに一貫性があるか
- ③ 「まとめる」
枠、行間は適切か。
- ④ 「強調する」
重要なことが適切に強調
されているか

について、的確な指導、指摘がありました。

具体的な内容としては、「結論が伝わる具体的な見出し、インパクトがある表現の工夫」「空白を活用し、窮屈感をなくす工夫」「企画をグループ化し、情報を整理して掲載する」「色の濃淡、フォントの大きさ

常任委員会・広報

産業厚生常任委員会

【研修日】7月23日・24日

○岩手県宮古市

子育て支援充実のための国民健康保険税「子ども均等割減免」の実施について

国民健康保険は被保険者数の人数により課税される均等割があり、子どもが増えると税負担が増える状況であるため、子育て支援の一環として、「子どもの均等割り減免」を実施し、経済的支援を行っています。減免の内容は、

①実施時期
令和元年度の国民健康保険税から適用

②対象者
18歳以下の子ども

③減免の額
対象者の均等割額全額

④対象者数
836人
となっています。

事業が始まったばかりで、市民の反応は少ないようですが、子育て支援の充実のため様々な支援、出産育児の環境整備を行っています。

本町も、本町にあった子育て支援の取り組みが必要であると実感しました。

○岩手県遠野市

道の駅「遠野風の丘」について

遠野市では、観光客が増加していたこと、個人旅行が増え観光情報をはじめ、地場産品などを提供する施設の整備が求められていたことなどから、平成10年度に開所しました。

平成27年度には次の3つの拠点として「全国モデル道の駅」に認定されています。

①防災拠点
東日本大震災では、復旧・救援に向かう自衛隊・消防隊の方々の後方支援を行う

②産業振興拠点
沿岸被災地の海産物を扱う鮮魚店を開設し、復興を支援県内「道の駅」共通の新商品を「遠野風の丘」が中心となり開発

③観光・地方移住等総合案内拠点
観光案内所での情報発信ふるさと納税制度を紹介し、納税者へ特産品を提供

両市とも、様々な施策で地域活性化を図っていることに感銘を受けました。

委員長 津野田重一



研修報告をする神藤委員長

委員長 神藤昭彦

などで適切に強調する」ことが必要であると指摘がありました。研修全体を通して、広報紙づくりの理念をしっかりと持ち、編集方針に沿って『ぶれない』議会報づくりを行う必要があると学びました。

また、編集・デザインについては、4つのチェックポイントを意識し、町民の方に何を伝えたいのか、インパクトある表現にし、正確な情報発信により、読者の心に届くように編集することで、更に身近に感じる広報紙になると感じました。

審 議 結

議案番号	付 議 事 件	結 果			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		賛成	反対	議決結果	篠塚啓一	宇津木宣雄	海老原友子	神藤昭彦	小川公威	志鳥勝則	高橋正昭	稲川洋	勝山修輔	津野田重一	生出慶一	稲見敏夫	松本清	稲葉弘	石崎幸寛
第56号	平成30年度上三川町一般会計歳入歳出決算の認定について	13	2	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○
第57号	平成30年度上三川町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	14	1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第58号	平成30年度上三川町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	14	1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第59号	平成30年度上三川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	14	1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第60号	平成30年度上三川町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	14	1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
第61号	平成30年度上三川町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	14	1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
第62号	平成30年度上三川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	14	1	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
委員会案第4号	上三川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	14	1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

○…賛成、×…反対

※ 田村 稔議長（16番）は、採決に加わりません。

議員派遣

【議会運営委員会】

日程

10月28日・29日

視察先・目的

静岡県御殿場市

議会運営・委員会運営について

神奈川県寒川町

議会改革について

議会におけるICT活用状況について
(タブレット端末の導入等)

【栃木県町村議会議員研修会】

(栃木県町村議会議長会主催)

日程

11月21日

視察先・目的

宇都宮市

議会の活性化と資質向上を図るため



一般質問

防災・環境づくりに論戦

一般質問 は、9月5日、6日の2日間にわたって行われました。

9月5日 4人の議員が登壇

議員名	質問項目	質問要旨
しんどう あきひこ 神藤 昭彦	防災対策について	住民の意識向上への町の取り組み (家庭での備え、指定避難場所・自主防災組織の認知度向上) 自主防災組織の組織数、活動内容、活動の参加状況 非常食、飲料水、仮設トイレの備蓄状況 避難所のルール、ペットを飼っている方の避難所のルール
	防犯対策について	防犯意識の高揚への取り組み 防犯体制に関する町民満足度 防犯灯の設置ルール(手順)
	ボランティアの育成・活動の支援について	育成や活動の支援(物品支給など)方法
うつぎのりお 宇津木 宣雄	自主防災組織の設置と町の取り組みの経過について	設置状況について
	消防団に対する支援について	県消防操法大会出場への支援 (町消防団が河宇地区の代表として出場(令和2年)) 消防団詰所のトイレ整備計画
かつやま しゅうすけ 勝山 修輔	都市公園の管理について	都市公園管理にかかる指名競争入札の状況 (業者名、入札業者数・名、落札額、落札率等) 指定管理者制度等の導入
	都市公園の集客と活性化について	活性化や集客への取り組み
いなば ひろし 稲葉 弘	補聴器購入費用の助成について	助成件数、加齢による補聴器購入に対する費用助成
	熱中症対策について	町民への啓発(特に高齢者への注意喚起) 生活保護者、低所得者へのエアコン設置費用支援 小中学校の体育館のエアコン設置
	幼児教育・保育の無償化について	無償化の範囲(給食の副食費を含む)と対象者

一般質問とは・・・

議員が行政全般にわたって執行機関に対し、施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。議員にとっては、もっとも華やかな発言の場であり、大事な議員活動の場があります。

9月6日 2人の議員が登壇

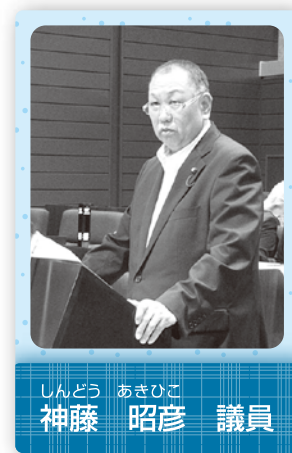


議員名	質問項目	質問要旨
おがわ きみたけ 小川 公威	基金について	各種基金の目的と今後の残高推移の見込み
	ケーブルテレビについて	開始時期と放送内容
	部活動の指導について	今後の指導方針
いながわ ひろし 稲川 洋	新産業団地建設・稼働に伴う交通安全対策について	予想される交通量の増大への交通安全対策 町道3-123号線の願成寺地区集落密集地への安全対策
	県内外からの来町者の増加方策について	公共交通機関での来町者に対する町の案内方法 休日おでかけパス（JR東日本発行フリーパス）エリアに石橋駅が含まれるよう働きかけをする考え
	投票率の向上施策について	選挙の周知・啓発に対する施策

今定例会の傍聴者
36人



議会傍聴においでいただき
ありがとうございました。



防災対策

問 町民の意識向上への取り組みは。

答 町長 指定避難場所や河川が氾濫した際に浸水が想定される区域、日常的な家庭での備え、非常時の持ち出し品を掲載した防災マップを全戸に配布するとともに、ホームページにも掲載するなどして周知に努めています。

問 避難所でのルールはあるか。

答 町長 基本的な事項は定めています。具体的なルールは各避難所に避難所運営委員会を設置し、定めていくこととなります。

防犯対策

問 防犯灯を設置する際のルール(手順)はあるか。

答 町長 防犯灯は自治会の要望等により設置しています。

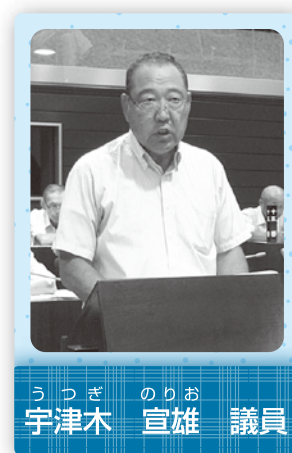
防犯上特に必要であるか、ほかに照明がないかなど、周囲の状況や設置が可能な電柱の有無などを調査した上で優先順位等を判断し、順次設置しています。

また、特定の地域に偏らないよう計画的に設置しています。

ボランティアの育成・活動への支援

問 育成・支援に対する町の考えは。

答 町長 町の社会福祉協議会の事業である「ボランティアセンター事業」に対し、事業費の2分の1を補助し側面から育成・支援をしています。



自主防災組織

問 設立状況は。

答 町長 平成27年度から順次自治会に対する説明会を開催するなどして推進しています。これまでに、23の自治会で設立されています。

消防団への支援

問 来年行われる「栃木県消防操法大会」に町の消防団が河宇地区代表として出場をするが、町が支援を行う考えはあるか。

答 町長 過去に町消防団が出場した際には、選手の強化を図る為の報酬の確保や、消防ポンプなどの操法大会に使用する器具のメンテナンス、消防

問 消防団詰所のトイレの整備はどのように計画しているか。

ホースなどの備品整備を行いました。
このようなことを参考に、支援を行いたいと考えます。

答 町長 町内にある消防団詰所12ヶ所のうち、トイレが未整備となつているのは4ヶ所です。

4ヶ所のうち3ヶ所は、詰所の建て替えに併せて、1ヶ所はトイレのみの整備を計画しています。

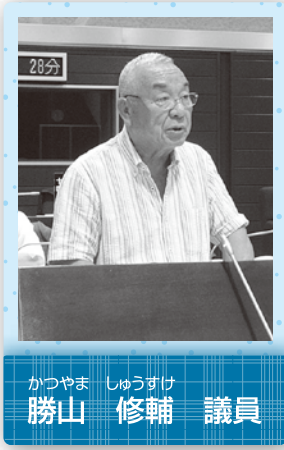


都市公園の管理

問 利用促進・魅力アップのために、指定管理者制度を導入する考えはあるか。

答 町長 公園の管理は、地元の造園業者への委託による除草・樹木選定業務や警備会社による夜間巡回業務等を実施しています。

一部有料施設の受付業務を指定管理者により実施していますが、それ以外の公園管理については民間事業者等による良好な管理が行われており、住民からの陳情も少ないことから、現在のところ指定管理者制度を導入する考えはありません。



かつやま しゅうすけ
勝山 修輔 議員

都市公園の集客と活性化

問 人が集まる憩いの場としての公園にするため、どのような取り組みを考えているか。

答 町長 比較的大規模な地区公園や近隣公園については、町ホームページのほか民間の情報発信ホームページ・情報誌等による周知活動を実施しており、町内外から多くの人に利用されています。

今後もホームページや情報誌などによる広報活動、地域住民との連携をしながら地域に愛される公園づくりに努めていきたいと考えます。



補聴器購入費用の助成

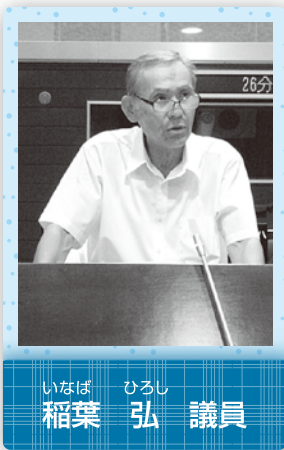
問 加齢による購入費用を助成する考えは。

答 町長 加齢性難聴の方の補聴器購入費用に対する助成については、国や県内市町の動向を見据えながら検討していきたいと考えます。

熱中症対策

問 生活保護受給者や低所得者に対し、エアコン設置費用を助成する考えは。

答 町長 生活保護受給者については、支給要件に該当すれば、冷房器具の購入費用として5万円の範囲で保護費の支給が認められています。



いなば ひろし
稲葉 弘 議員

町は相談窓口となっているため、生活保護受給者から相談を受けた場合には、県に対し早急に相談内容を繋いでいきます。

低所得者については、助成制度は無く、制度を創設する予定はありませんが、就労が難しく生活に困窮する場合には、生活保護制度の案内を行うなど支援していく考えです。

幼児教育・保育の無償化

問 保育所に通う3歳から5歳児の保育料に含まれていた給食の副食費も無償化の対象となるか。

答 町長 副食費については利用者が負担することになります。ただし、年収360万円未満相当世帯のお子さんと、小学校就学前のお子さんから数えて第3子以降のお子さんは、副食費も無償化の対象となります。



部活動の指導

問 指導の在り方に対する考えは。

答 教育長 部活動の活動時間、休養日の目安や効果的な指導法の工夫改善等を示した「上三川町部活動の在り方に関する方針」を通して、教育委員会としては持続可能な部活動を目指し、生徒の健全な育成に努めています。

ケーブルテレビ

問 開始時期と内容は。

答 町長 12月末に開局し、来年1月までには町内ほぼ全域で利用することが出来るように整備が進められていると「栃

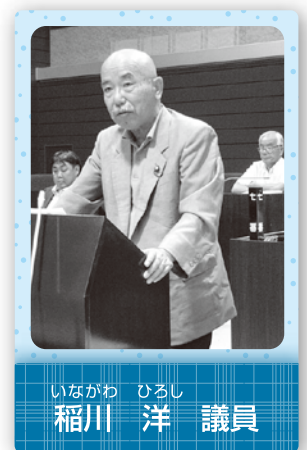
木ケーブルテレビ」より伺っています。

内容は、エリア内(下野市・壬生町と同じエリアとなる)の地域情報や防災情報、緊急情報や、コミュニティチャンネルとして季節の行事やイベント情報などが視聴できます。ホームページやかみたんメール、SNSとともに、情報発信ツールの1つとして活用できるものと考えます。

基金について

問 町の基金の目的と残高推移の見込みは。

答 町長 財政調整基金、地方債償還のための町債管理基金のほか条例に定める目的のために積立・運用する11基金を設置しています。大幅な税収を見込むことが難しい中、財政需要は増加していくと想定されることから基金残高も減少していくと見込んでいます。



来町者の増加策

問 JR東日本で発行している「休日おでかけパス」の有効エリアに石橋駅も入るように働きかけをする考えはあるか。

答 商工課長 県内外からの来町者の増加を図るとともに、町民の利便性向上のため、石橋駅をエリアに含めて頂けるよう、県・隣接市町と連携し、JR東日本へ働きかけをしていきたいと考えます。

【休日おでかけパス】

東京近郊のエリア内の普通列車(快速含む)普通車自由席、東京臨海高速鉄道線全線、東京モノレール線全線が乗り降り自由のきっぷ。栃木県は自治医大駅までがエリア内となっています。

新産業団地建設・稼動に伴う交通安全対策

問 建設・稼動で予想される交通量増大への対策は。

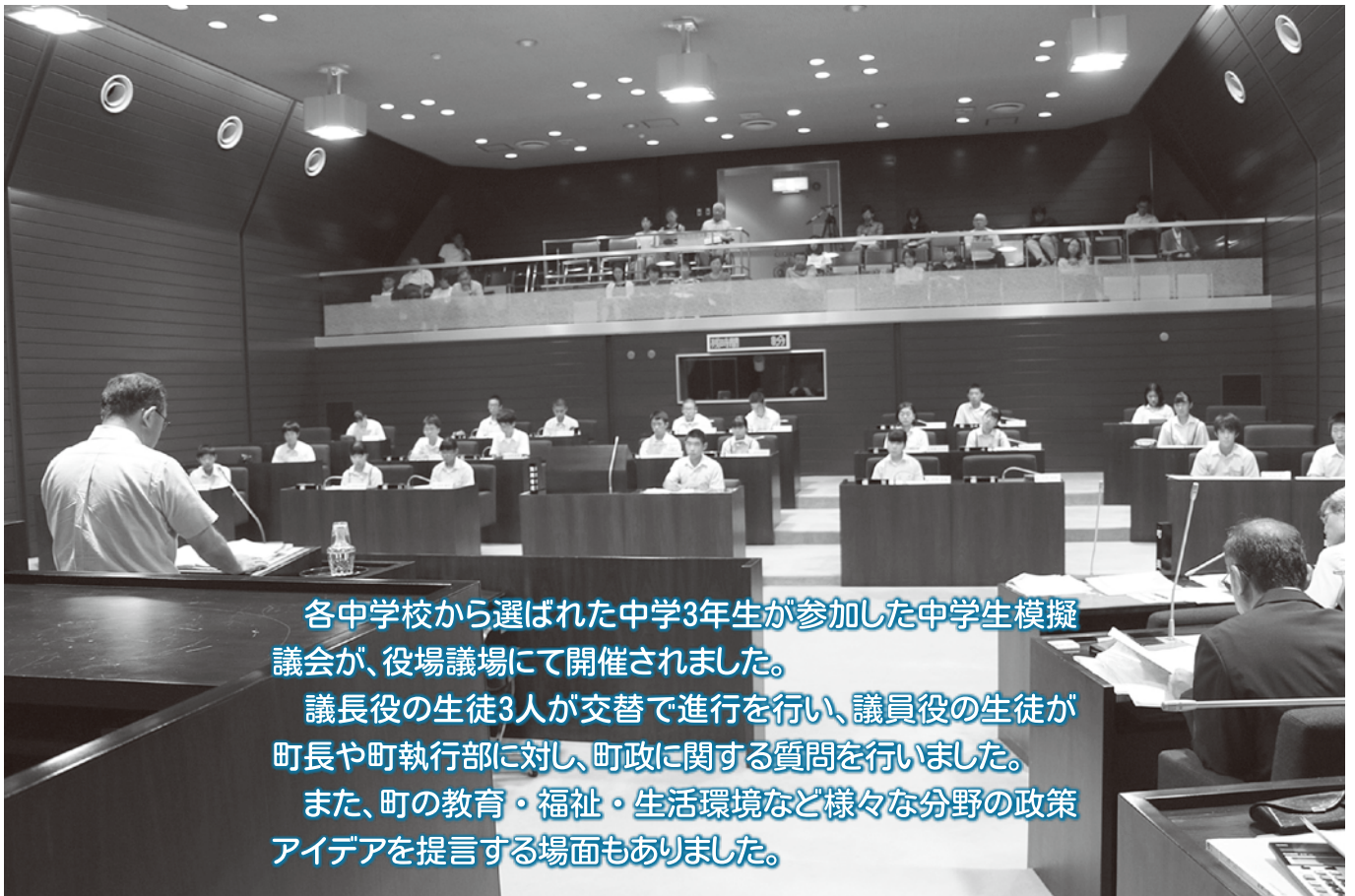
答 都市建設課長 増大する交通量に対応するため、アクセス道路となる町道3・123号線の整備を進めています。整備の内容は、延長1.1キロメートルの道路について、幅5メートル(歩道無)から、歩道を含んだ幅11メートルの道路に改良します。

問 町道3・123号線は、集落密集地を通過するため、通過回避などの対策が必要と考えるが、町の考えは。

答 都市建設課長 通過回避については、産業団地南側交差点にて注意喚起看板等を設置します。通過する車両に対しては、速度抑制対策を検討していきます。

中学生模擬議会が 開催されました

【8月7日】



各中学校から選ばれた中学3年生が参加した中学生模擬議会が、役場議場にて開催されました。
議長役の生徒3人が交替で進行を行い、議員役の生徒が町長や町執行部に対し、町政に関する質問を行いました。
また、町の教育・福祉・生活環境など様々な分野の政策アイデアを提言する場面もありました。



事前打ち合わせの様子

町議会議員が自席から質問席に立つまでの流れなど、議場内における所作について説明をしました。

革検討会検討実績報告



三川町議会活性化に向けた改革検討会（以下「検討会」という。）を設置します。

検討会」で検討を進めてきた現時点での検討結果を、報告いたします。

議会基本条例の制定

（平成31年4月施行）

議会の役割と責務を明確にし、議会の運営及び議員の活動に関する基本的事項について定めた「議会基本条例」を制定しました。

（条例の概要）

町民の代表機関としての議会の役割と責務を明確化するため、「議会の活動原則」「議員の活動原則」「町民と議会の関係」「委員会等の公開」「政務活動費」「議員の政治倫理」等について規定しています。

議員定数の見直し

（令和元年6月改正）

「上三川町議会議員定数を定める条例」の一部を改正し、議会議員の定数を現在の「16人」から「14人」としました。

※施行は次の一般選挙（令和2年1月任期満了に伴う選挙）から。

議会政務活動費の運用方法の見直し

①議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正し、議会政務活動費の交付要件に「町税等に滞納がないこと」を追加しました。

（平成31年4月施行）

②町ホームページ上で交付金実績一覧を公表することとしました。

（平成30年度分以降を公表）

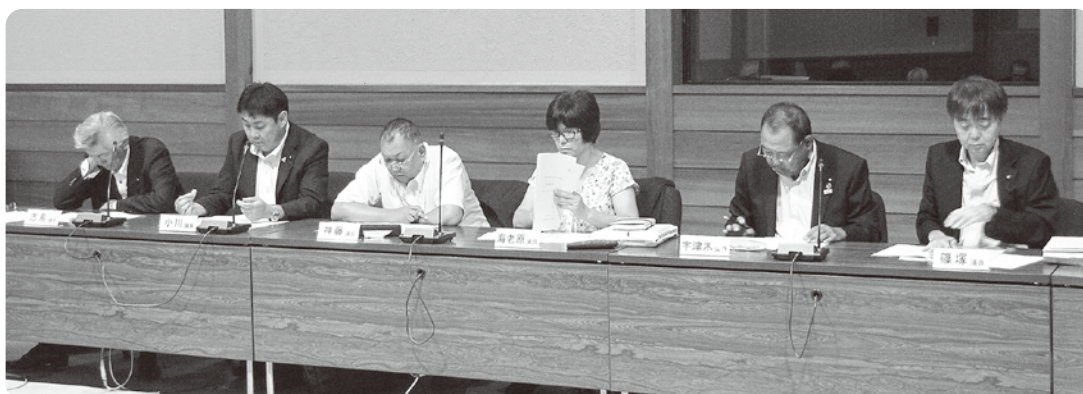
町ホームページへの議会会議録公開

（平成30年9月から掲載）

現職議員の任期開始（平成28年1月）以降の議会会議録をホームページ上で公開することとしました。

議会懇談会実施要領の策定

町民の意見を議会活動に、より反映させるための意見交換の場として、町民からの要望に応じて、懇談会を実施するための要領を策定しました。





議会活性化に向けた改

議会では、議会の活性化、開かれた議会を目指して、平成24年3月に「上
改革に向けた課題の抽出等を行い、検討項目について、協議・検討を行って
今回は、平成28年1月の議員改選により選出された議員で構成する「第2期

予算特別委員会の設置
(平成31年3月定例会から設置)

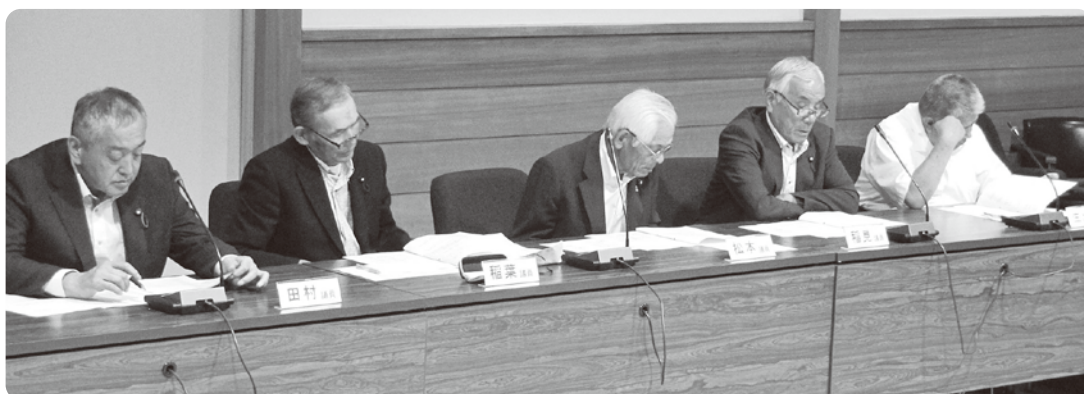
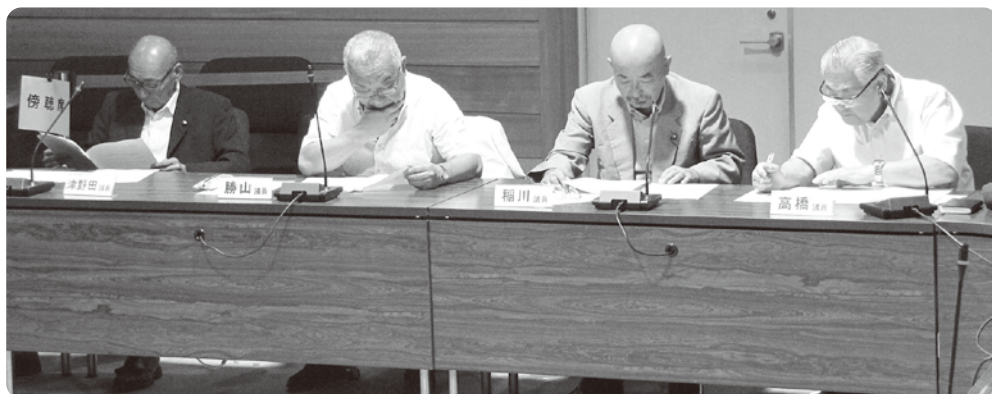
町当初予算の審議について、全
議員で構成する「予算特別委員会」
を設置し、行うこととしました。
各予算会計の詳細な審議につい
ては、「分科会」を設置し、分割で行
います。

議会常任委員会と執行機関の非公
式協議の設置基準の策定

議案として提案されたもの以外
について、議会常任委員会と町執
行部が互いに非公式な協議が必
要と思われる時に円滑に協議の場
が設置できるよう、開催の手順等、
事前の取り決めについて規定しま
した。



石崎座長



上三川町ってどんなところ？

第6弾、かみのかわブランド認定品を紹介！



①ブランド品の特徴 ②生産者

かみのかわブランドとは……町の特性を生かした生産物の中から特に優れたものを「かみのかわブランド」として認定しています。(3回目)

シンビジューム(洋蘭)

①年間約20種以上を栽培しています。色はピンクを中心に黄・緑・白、仕立ては直立タイプ・アーチタイプなどがあり、多種多様なニーズに対応しています。



② (有)隅内園芸
大字上蒲生861 Tel 0285-56-4420

にっこり(梨)

①栃木県オリジナルの品種で、糖度が高くジューシーな梨です。収穫時期は10月中旬～12月初旬ですが、冷暗所に保存すれば、お正月頃まで楽しめます。



町内の栽培農家は5軒で、出荷量は約2トンです。
② 問い合わせ先
役場 農政課 Tel 0285-56-9138

①有機米

②有機黒米

③おこげ煎餅

④さとういらず(大豆)

⑤有機黒小粒大豆

⑥有機麦茶

⑦白鷺の恵(うどん)

⑧白鷺の恵(地ビール)

⑨十割そば

⑩菜種油



①農産物及び加工品の原材料ともに、有機JASの認証を受けています。環境に配慮した生産方式を採用するとともに、安全性の高い原材料を採用し、安全・安心の商品提供をしています。

② (有)日本の稲作を守る会 Tel 0285-53-7093

編集後記

詳細については、生産者の方にお問合せください。
認定品は、いきいきプラザ農産物直売所(一部商品)でも購入ができます。

早いもので今回を入れ、あと2号で4年間の広報委員会が終了します。慣れない編集作業や、表紙の写真撮影、イラストやカット割りなど思い入れの多いものが沢山あります。特に写真は、なかなか上手く撮れないことが多く、奇跡の一枚が表紙を飾った時は本当に嬉しく思いました。

私達なりに精一杯努力して広報紙を作成しましたが広報紙をプロの先生に見て頂ける「広報クリニック」というものがあり、今回は応募しませんでした。自分達の改善点も明確になりますので、次の広報委員会の方には是非とも応募して頂き、より良い議会広報を作っていたいだきたいと思えます。

町民の皆さまにとって身近な広報紙になっていただき、多くの皆様に読んでいただきたいたいと思っております。
(海老原)

広報委員会

委員長

副委員長

委員

神藤 昭彦

海老原 友子

篠塚 啓一

小川 公威

石崎 幸寛